

創刊号 そらしーど 通信

タイトルの由来について (そらしーど) 奏楽のたねの「種」は英語でシード。ドレミファソラシドのリズム ♪ を掛けて名付けました。会報の名称としてこれからもよろしくお願ひします。

代表挨拶

はじめまして。代表の伊藤です。
2021年10月に最愛の娘をお空に送りました。
娘は世間でいう【重度心身障がい児】で【医療的ケア児】でした。
娘のケアをしている時は、眠いな…とか辛いな…とか、こんな事が一生続くのかな…など日々色々な想いを巡らせてケアをしていました。それなのに、その時間が無くなるととても寂しく、もっともっと娘のケアをしていたかった…。眠いとか辛いとか思わなきゃ良かった…など後悔が。毎日必死にお世話をしている、時々休みたいと思ってしまう自分に母親失格だと反省した事もあります。

今ではあの時間が親子の絆の時間だったと思うと愛おしくて仕方がないです。でもやっぱり、生活に、自分の心に余裕がなかったのも事実です。いつも一生懸命頑張っていらっしゃるご家族の皆さんに、少しでも休息の時間や心の余裕を持って地域で、家族みんなで、生活していけるお手伝いができますように願っております。



奏楽(そら)のたね
sora no tane

代表理事 伊藤 和美



奏楽(そら)のて

奏楽のたね ロゴマークは穏やかな風の流れに乗って、たねを乗せた綿毛が自由に空を飛んでいるイメージです。五線譜の「ソ」「ラ」の位置にたねを配置しています。ロゴは、マークのイメージに合わせながら、お母さんが子供のために書いてあげたような素朴で温かみのあるデザインにしました。穏やかな風に乗った種がいろいろなところに降り立ち、そして芽を出し、綺麗な花を咲かせ、見た人達の心を和ませてほしいと思います。

奏楽のて ロゴマークは「手」と「鳥(幸せの象徴のハトかな?)」を組み合わせてみました。空(そら)に向かって自由に羽ばたいていくイメージです。(作者より)

オガサワラ ユウダイ様へ 感謝! 申し上げます。

法人を立ち上げる際に、優しく可愛いロゴマークが欲しいな…と思いました。イメージはあるのだけど上手く自分では表現できなくて、私の拙い表現と微妙なラフ画を元に作ってくれる方がいないかな?と探していたところ…。ご縁という数珠つなぎで出会ってしまいました。

【オガサワラ ユウダイ】さんに!!
ユウダイさんは、娘の母子手帳の表紙【岩手わんこきょうだい】の作者さんです!!
そのユウダイさんが、私たちの法人のロゴを描いてくださるなんて・・・何かのご縁ですよ。法人と事業所分をお願いしたら、とっても素敵なデザインロゴになりました!!
出来上がった事業所のロゴは鳥がモチーフになっていて、酉年の娘にはピッタリ!!と大感激!!
調子によって事業所の看板や、パンフレットなどありとあらゆるデザインをお願いして、素敵な形に仕上がりました。私の拙い表現力がこんなにも素敵な形に変身して戻ってきてくれた事、本当に感謝いたします。 代表 伊藤

特定非営利活動法人 奏楽のたね

ヘルパーステーション 奏楽のて 事業開始

令和5年5月1日事業所開設!

5月19日付で 特定行為事業者 の認定を受けました。

☆医療的ケアができるようになりました☆



知って欲しい… 医療的ケア児・者と家族の思い

🗣️ 医療的ケア…?
「医ケア」ってなに?

- 👤 自宅などで家族等が日常的に行う **医療的生活援助行為**のことです。
- 👤 医師や看護師などが行う「医療行為」と同じことを家族が行う場合 **医療的ケア**と呼んで、区別しています。
- 👤 心身の機能に障がいがあり、呼吸や栄養摂取、排泄などの際に医療機器とケアを必要とする方たちです。重症心身障がい児・者に多くみられますが、肢体不自由、知的障がいを伴わない方、医ケアがあっても走ることができる方もいます。医療的ケアの種類によっては成長に伴い、自分でできるようになることもあります。病院から退院した後も引き続き、**チューブを使った栄養摂取や人工呼吸器の使用など**、医療的ケアを日常的に必要としながら自宅で暮らす方が増えているのです。

🗣️ 医ケア児・者って
どれだけ増えている?

👤 全国で **医療的ケア児・者は、10年前の2倍**に増えています。医療の進歩などから、重い病気や障がいがあっても、命をつないで自宅で過ごすことができるお子さんたちが増えています。

皆さん、今度ユウダイさんがデザインしてくださった看板を見にきてみてくださいね!

ヘルパーステーション 奏楽のて に寄せられたご家族の声をご紹介します。

学校を卒業してそれからはどうなるのか…朝、登校することで季節の移り変わりを知り、いろんな人に出会い、いろんなことを感じてきました。学校に通うことは、娘にとって社会とつながり、人生を豊かにすることでした。それがなくなったら生活はどうなるんだろう…不安な18歳の春でした。しかし、スタートした社会人生活は思いのほか彩り豊か、心配は杞憂に終わりました。通所でお仕事をしたり、大学に通ったり自宅で取り組む**視輸入力アート**もどんどん世界を広げてくれています。20歳を迎え、自分の楽しむ道をマイペースで進んでいます。だけど、解決できない悩みがありました。娘の活動が活発になればなるほど、楽しい活動も友達との外出も常に母と一緒に付かなければならないということ…。奏楽のてヘルパーさんにはそんな母の担っていた役割を少しずつお譲りしていきたいのです。娘の自立を共に作り上げてくれる存在になってくれることを期待しています。一緒に面白がって、娘の毎日を支えてくださいね。どうぞよろしくお願いします。 **三浦りん様のお母様より**

賛助会費(順不同)ご協力ありがとうございました。

- 阿部勲 様 阿部重雄 様 伊藤洋太・奏楽ちゃん親子 大島章・恵美 御夫妻
- 白石理恵 様 高橋純子 様 蜂谷暁 様 廣瀬千絵 様
- ケアセンターいこいヘルパー室 有志御一同 様

🌱 御協力頂いたみなさまへ 心より感謝を申し上げます。🌱

タイトルの由来(そらしーど)は、奏楽のたねの「種」を英語の Seed
ドレミファソラシドのリズム ♪ と掛け合わせて名付けました

令和5年秋季 そらしーど通信 第2号



奏楽(そら)のたね
SORA no TANE

秋晴れの候、皆様にはご健勝のことと存じます。

酷暑もやっと去り、朝夕の肌寒い風が吹き始め、そろそろ衣替えの季節になりました。まだ気候の変動や多くの夏の疲れが出てくる頃でもあります。体調管理には十分お気を付けてお過ごし下さい。

 移り変わる季節の風景や秋の味覚を満喫し、夜長には夏の睡眠不足を解消しましょう 

さて、最近の奏楽のたね事業所活動報告をさせていただきます。

8/7(月)救命救急講習、8/27(日)市民フェスタ、9/20(水)心魂(こころだま)プロジェクトのミュージカル、こども部会主催の研修会《災害時個別避難計画について》が開催され職員参加しました。重度障がい者さん方の個別避難経路、所要時間、必要物品等々グループディスカッションを行い有意義な意見交換ができました。具体的な計画と避難訓練を行うべく、引き続きの活動に注目していきたいところです。

一刻を争う緊急時救命のために！



8/7(月)一関市西消防署にて《普通救命講習》を受講、事業所開設後第1回目の講習でした。元木救命士さんのご指導を頂き、職員は真剣に実技に取り組みました。過去に受講経験があっても忘れていた事も多々あり思い起こしながらの実習を受けて参りました。心停止の予防、早期認識と通報、一次救命処置が救命の輪を繋げるのです。

いざという時に慌てず行動出来るように継続、定期的な受講が必要と感じた講習会でした。

一関市民フェスタが千厩町で開催！

8/27(日)いちのせき市民フェスタ(市民活動センター主催)にブース参加しました！

オンサンデイズ(父親たちの読み聞かせ集団・ボランティア)のメンバーによる絵本読み聞かせ会、

奏楽のてヘルパーが作成したペットボトルキャップのオタマジャクシと金魚すくい、手作りスライム体験を楽しんでもらいました。たくさんのお子さんの笑顔、御家族に喜んで頂けたことにスタッフ一同より御礼申し上げます。今回初参加でしたが、来年さらにパワーアップしてまたお会いできることを楽しみにしています。



金魚?!
おたまじゃくし?!
いっぱい作るよ!



まぜまぜ! 素敵なおね!



感動は全ての人々に平等に権利がある！

9/20(水)一関清明支援学校体育館にて『NPO法人心魂(こころだま)ミュージカル』が開催されました。

『OUR STORY』という創作物語を迫力ある歌と踊りで観客席を魅了していました。一関清明支援学校生徒さん、レスパイトハウス・ハンズの皆さん、ぼけっこの会の皆さん、ご父兄方、居宅介護支援センターやすらぎの皆さん、奏楽のてヘルパー、関係者の方々。会場には音楽に合わせて躍る生徒さん、手話通訳を通じて楽しんでいる

生徒さんもいました。みんなの熱気に包まれながら舞台は幕を閉じました。同じ場所で、同じものを聞かして、同じ躍動を体験する事…本当に感動はみんな平等でした！とても楽しく素敵な一日でした。

上左から・出演者 みーちゃん、まーくん、いぶちゃん、じゅんちゃん

下左から・伊藤和美所長 一歩さん、淑子さん親子 りんさん、かおるさん親子

個別避難計画を近日実施！

避難勧告が廃止されレベル4避難指示には必ず避難しなければなりません。それ以外のレベルでは自己に委ねられるところとなり個々の判断が難しくなりました。重度障がい者、高齢者にとっての緊急避難は命がけの事態です。早めの判断、早目の避難を心掛ける事が大切です。レベル2段階で避難行動に移ることが望ましいでしょう。重度障がい者のご家庭では各自個別に避難計画を作成し実践的な避難訓練を10/31(火)予定しています。安全、迅速に実施出来るよう奏楽のたねは協力参加していきます。



賛助会費(順不同)ご協力ありがとうございました

千葉菜穂美様 佐藤美香子様 小野寺ユミ子様 菊地正規様 熊谷次男様 丸山恵子様
小高敦子様 千葉保則様 千葉淑子様 スタジオBU-KI様 吉田真様 吉田佳寿庵様
矢野潤様 小野寺玲花ちゃん・久美様 柴田理恵子様

次回は新春号予定!です。

引き続き変わらぬ御支援のほどよろしくお願ひ致します。